



すいちゅう 水中 めがねの、うまいくもり止めの方法をおし

ヨモギなどの植物を使う

すいちゅう めがねのとう明な部分が、自分の息などでくもることがあります。とう明な部分がくもっては、すいちゅう めがねの用をたせなくなります。そのとき、川原に生えているヨモギなどの植物が、くもり止めとして役立ちます。

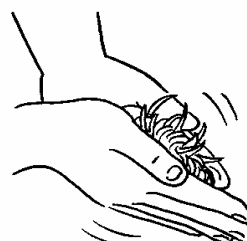
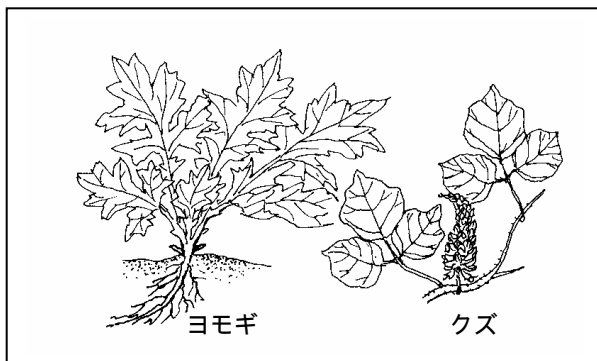
使い方はかんたんです。まず、ヨモギかクズをさがし、葉をとります。次に、とった葉に、水をつけてよくもみます。そして、葉がやわらかくなったら、すいちゅう めがねのとう明な部分の、内側と外側を、葉でよくみがきます。

これで、くもり止めができます。あとは、水でよく洗って、顔につければオーケーです。

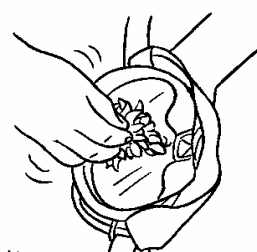
いちど使ったヨモギやクズの葉は、また、すいちゅう めがねの、とう明な部分がくもったら使えますので、とっておきましょう。

「つば」をつけてもできる

ヨモギやクズの葉がないときには、とう明な部分に「つば」をつけても、くもり止めになります。(監修・青木 国夫)



葉に水をつけてよくもむ



よくみがく



水でよく洗う



つばでみがいてもよい

